

ごあいさつ

エコチル調査福島ユニットセンター
センター長 橋本浩一

～学童期の新たなステージへ～

エコチル調査の推進につきまして、日頃よりご理解、ご協力を賜りまして心から感謝申し上げます。

平成23年1月から開始され、東日本大震災からの復興とともに歩んできたエコチル調査は8年目に入りました。平成23年度に出生した児はこの4月に小学校に入学しました。特に、東日本大震災、そして原子力発電所事故の混乱の中、様々な思いで出産し、お子さんの成長を見守ってこられたご家族の皆様におかれましてはこの上ない喜びと存じます。

10万人の妊婦さんの参加登録にて開始された本調査の成功の鍵は、可能な限り多くの子どもたちの参加継続、そして高い質問票返却率の維持です。そのため、福島ユニットセンターでは“顔の見える参加者とのコミュニケーション”をモットーとし、子どもたちの発達に合わせた「ふれあい会」を開催してきました。さらに平成29年度は、新たに保護者を対象とした「笑いヨガ」や「子育てワークショップ」などのイベントにも取り組みました。和気あいあいとした雰囲気の中でエコチル調査にご理解をいただいています。

全県下で実施されている福島県における本調査は、調査登録出生児の約97%(約12,500人、平成30年3月31日現在)が継続参加し、半年ごとの質問票回収率はおおむね80%となっているなど順調に進んでいます。また、国家プロジェクトであるエコチル調査は、各ユニットセンターの取組について、外部委員による評価を毎年受けています。平成29年度、当ユニットセンターはS、A、B、Cの4段階のうち「S」と高評価を受けました。S評価は全国19か所のユニット・サブユニットセンターのなかで3か所のみです。参加者、関係者のご協力の賜物です。改めまして感謝申し上げます。日々の活動、結果など

は当ユニットセンターホームページの「みんなの図書室」、あるいは環境省ホームページの「調査の結果」でご覧いただけます。

小惑星探査機“はやぶさ”をご存知でしょうか？1号機は7年間の宇宙での幾多の困難を乗り越えて地球に戻り、宇宙の神秘を紐解く情報を私たちにプレゼントしてくれました。エコチル調査はようやく7年を経過しました。リクルートから16年間の大航海はまだまだ続きます。

今後とも、一日一日と成長する子どもたちを関係者の皆様とともに見守り、そして学童期の新たなステージに歩み始めたエコチル調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

平成30年7月

